

「平成26年度新採用看護職員の1年間の研修」のご紹介

看護部 看護教育担当課長
仁木 恵美子

平成26年度、当院の新採用看護職員は、96名(新卒看護職員78名、既卒看護師18名)です。約100名の新採用看護職員と共に、看護部理念「私たちは『科学する眼』と『確かな技術』で心の通う看護を提供します」を具現化した看護が展開できるように日々研鑽しております。

今回は、平成26年度に予定しております、新採用看護職員の1年間の研修についてご紹介いたします。(表1.参照)中でも、ただ今真っ最中の「看護技術研修」を中心にお伝えいたします。

めざす1年後の姿は「市立札幌病院の看護職員としての自覚を持ち、病院・看護部理念に基づいた安全な看護が提供できる」として研修を企画しております。採用時には「新採用看護職員研修」として、①当院の概要を知り、地方公務員及び看護職員としての姿勢を学ぶ②安全で安心できる看護を提供するために必要な基本的知識を学ぶとして3日間の研修を行いました。その後は、集合教育と部署教育とを連動させながら進みます。

「看護技術研修」は、4月から6月初旬にかけて実施し、今年は合計14の看護技術について研修を行っています。「感染対策/移乗・移送/更衣・体位変換/静脈採血/静脈内点滴/口腔ケア/導尿/陰部洗浄/急変時の初期評価と対応/モニター装着時の看護

平成26年度 新採用看護職員の1年間の研修 全体像

新卒対象 既卒対象 平成26年(2016年)2月20日
看護部 研修委員会

めざす1年後の姿
市立札幌病院の看護職員としての自覚を持ち、病院・看護部理念に基づいた安全な看護が提供できる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10-12月	1-3月	
<div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">集合教育</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">部署教育</div>	<p>新採用看護職員研修 《講義》 (4/1・2・3)</p> <p>【目的】 1)市立札幌病院の概要を知り、地方公務員及び看護職員としての姿勢を学ぶ 2)安全で安心できる看護を提供するために必要な基本的知識を学ぶ</p> <p>【目標】 1)地方公務員としての立場を理解する 2)市立札幌病院の組織・機構を知ると共に、看護部の理念・基本方針を理解する 3)2)をふまえ、安全で安心できる看護を提供するために基本的知識を得ることが出来る</p>	<p>看護技術研修《演習》 4/7・8・18・28 5/16・19・26 6/2・9 4/7・14</p> <p>【目的】 患者に安全・安楽で安心できる看護を提供するために、科学的根拠に基づいた看護技術を学ぶ</p> <p>【目標】 1)院内共通の看護技術が実施できる 2)急変時の初期評価と対応ができる</p>	<p>IT研修注1) 《グループワーク》 (7/4)</p> <p>【目的】 就職後の体験や気持ちを共有し、明日への意欲につなげる</p>	<p>多重課題研修 《演習・講義》(9/1又は9/2)</p> <p>【目的】 多重課題場面において安全な看護を実施するための知識・技術・態度を学ぶ</p>	<p>看護過程研修 《講義や演習》【目的】看護過程を展開するための能力を培う</p> <p>看護過程研修Ⅰ 《Ⅰ-1講義》(4/22) 《Ⅰ-2演習》注2) (5/12)</p> <p>【目的】 1)看護過程の患者プロセスについて言語化できる 2)1)を踏まえて自己の課題と行動目標を言語化できる</p>	<p>看護過程研修Ⅱ《講義と演習》(6/20)</p> <p>【目的】 1)看護診断プロセスについて言語化できる 2)看護診断プロセスを展開するための自己の課題と行動目標を言語化できる</p>	<p>看護過程研修Ⅲ注2) (10/17) 《講義とグループワーク》(12/1又は12/2)</p> <p>【目的】 1)看護過程研修ⅠⅡⅢの学びを踏まえて看護過程を展開するための自己の課題と行動目標を言語化できる</p>		
	<p>看護職員臨床研修 《部署研修》(4/4~6/30)</p> <p>【目的】1.部署に必要な臨床実践能力の基礎を培う 2.部署の看護体制を理解し、部署の一員としての自覚と責任を持つ</p>	<p>臨床研修Ⅰ(4/4~部署設定日) 【目的】1)部署の環境に慣れることができる 2)指導を受けながら患者に必要な基本的看護技術を、安全、安楽に実施することができる</p>	<p>臨床研修Ⅱ(部署設定日~6/30) 【目的】1)患者を受け持ち、指導を受けながら患者に必要な看護を実施することができる 2)指導を受けながら実施した看護について記録ができる 3)看護が24時間患者に提供されていることを体験できる</p>	<p>注1) 既卒者は希望参加となります 注2) 看護過程研修Ⅰ-2、Ⅲでは、事前課題があります ※詳細については必ず研修実施要領を参照してください</p>					
									<p>eラーニングや文献学習で得た知識と集合研修での学びを、部署での実践にいかし、一年後の姿を目指していきましょう</p>
		<p>部署年間教育計画に基づき、知識・技術を習得する</p> <p>学研ナースングサポート(eラーニング)などを活用し、主体的に学習をすすめる</p>							



採血の様子



陰部洗浄の様子

／酸素療法／血糖測定／インスリン注射／中心静脈カテーテル刺入部管理」です。中でも緊張感が走るのは新卒看護職員の「採血法」です。手順に沿って、患者役、看護師役を体験し、実際に穿刺します。必要物品の準備、患者確認、採血の目的・指示内容の説明を行い患者と共に確認します。いよいよ血管の選択、消毒、穿刺…のはずが、もう一度血管を探し始めます。このような光景があらこちらでみられます。終了時には評価表に沿って、他者評価を受け自己の課題に繋げていきます。

また「陰部洗浄」では、陰部モデルを装着して実際に行います。患者役となった受講生からは、患者さんの気持ちに近づくことができ、羞恥心への配慮について熱く語られていました。

この「看護技術研修」の企画・運営・評価は、『看護技術サポート委員』が中心に行っています。集合教育では、必要物品や会場の準備、デモンストレーションの準備と実施、技術指導と評価等々、大活躍です。部署教育においては、年間の指導計画を立案し、部署で新採用看護職員の育成ができるようにプリセプターの支援も行っています。新採用看護職員の教育には欠かせない存在です。

この研修と並行して部署において実施する「看護職員臨床研修」を3ヶ月間行っています。目的は、①部署で必要な臨床実践能力の基礎を培う②部署の看護体制を理解し、部署の一員として自覚と責任を持つです。患者を受け持ち、記録すること、休日勤務や夜間勤務を体験する研修としています。

また、入職約3ヶ月頃に起こる可能性があるといわれる、リアリティショック防止としてこの時期に「リフレッシュ研修」を企画しています。辛い事を吐き出し、明日からまた頑張ってみようと思ってもらえるように準備しています。今年は、西区にある『農試公園』で行います。晴天の下で行う野外活動等を企画していますが、雨でも実施できるように準備は万端です。

4月下旬からは、「看護過程研修」をスタートさせ、ステップアップした研修企画にしています。

9月には「多重課題研修」として、多重課題場面において安全な看護を実践するための知識・技術・態度を学ぶ、として準備を進めています。

新採用看護職員の育成には、看護部全体・部署全体で関わっています。学習環境を整え、心を通わせながら、1年後に自分が思い描く姿に、そして組織として育成したい姿に近づくことができるように、研修を実施しています。



Topics

市立札幌病院 節電対策

経営管理部施設管理担当課長
中村 範仁

平成23年3月11日の東日本大震災による電力不足が契機となって、新エネルギーや省エネルギーによる節電対策が進んできています。

太陽光発電

市立札幌病院においては、平成23年度に増築された精神科病棟の屋上に、太陽光発電のパネルが設置されました。太陽光パネルは、シリコンと呼ばれる半導体素子に光が当たると直流の電気を発生する性質を利用して電気を取り出します。精神病棟の屋上には、南方方向に固定された2.5kWのパネルと、太陽の向きを追尾するようにパネルの向きを変える3.6kWのパネルの2種類が設置されていて、合計で晴天時には最大で6.1kW(一般住宅2軒分を賄うことができる電気量)の電気が発電できます。発電された電気は直流なので、パワーコンディショナーと呼ばれる装置に接続して、交流の100Vに変換して、北電から引き込んでいる電気に混ぜて使用しています。

平成25年度の太陽光発電による年間発電量は、7,918kWとなり、年間で約10万円の節電となりました。



太陽光パネル



パワーコンディショナー



監視装置：発電状況



人感センサーによる照明制御

トイレや階段室など、常に人がいない場所において、人感センサーによる照明の点灯・消灯を進めています。このことにより消し忘れを防止して、こまめに消灯することで節電を進めています。



人感センサー付照明器具



人感センサー部分



市立病院では今年度までESCO事業を行っており、将来的には照明器具のLED化など、更なる節電への取り組みが求められています。